

図書館だよりSAKUらいぶ

122号 2026

作新学院大学・作新学院大学短期大学部 図書館



「分かりやすさ」とは

ナニワ ヒロシ

作新学院大学人間文化学部 特任教授 浪花 寛

これは、教育に携わってきた自分が答えを求め続けている問いの一つです。また、教師を志す学生と共に考え続けている重要なテーマでもあります。

「分かりやすさ」を得るには単純化すると良いと言われますが、安易な単純化が却って分かりにくくしていることが多いように感じています。

「分かりにくさ」を感じるのは、対象となる物事の複雑さに含まれる不明瞭や矛盾といった不安定な気持ちを持つためであり、「分かりやすさ」には、それらの解消が必要になります。ところが安易な単純化は複雑さを初めから隠して不明瞭や矛盾を置き去りにしてしまうため、不安定な気持ちは解消されず、結果として「分かりにくさ」をより強めてしまうことが多いようです。

「分かりやすさ」を得るためには、まずは理解しようとしている人の疑問やイメージしにくさ、矛盾と感ずることなどをきめ細かく受け止めて寄り添う「共感」が大切になります。「共感」を前提とした丁寧な情報提供や直観的に捉えやすくする工夫としてならば、端的な表現やイメージしやすい事例を用いることなどの単純化が、はじめて「分かりやすさ」に繋がるのだと考えています。

SNS等では、脈絡を無視した切り取られた情報などの安易な単純化が横行していますが、「共感」できる力を身に付ける上では、繊細な気持ちのやり取りを体験できる読書は重要な営みだと受け止めています。こうした視点からも、読書の大切さを、教師を志す学生と共に見つめ直していきたいと思っています。

作新学院大学の「図書館教育」のご紹介

— 自ら学ぶ力を育てる授業 —

本学では、新生を対象に「図書館教育」を実施し、図書館職員が講師を務めています。

学生が図書館を適切に利用し、学修・研究に必要な情報を自ら探し、活用できるようにするための教育活動です。学生が情報の収集方法や活用方法を身につけることで、自立した学びを支援することを目的としています。

令和8年度は4月27日（月）、5月7日（木）、5月19日（火）、6月1日（月）計4回にわたり図書館教育を実施しました。はじめに大学生活において重要な「情報セキュリティ」について学んだ後、図書館の施設やOPAC（蔵書検索システム）の利用法、文献複写と著作権、電子図書館、レファレンスサービス等について説明がありました。

本誌で講義の様子をご紹介します。

講義の様子(図書館職員による講義)



学科ごとの参加者人数

所 属	図書館教育参加者
経営学部経営学科	143
経営学部スポーツマネジメント学科	90
人間文化学部発達教育学科	24
人間文化学部心理コミュニケーション学科	68
総計	325

図書館教育を受講した感想

(一部抜粋)

- 図書館の利用方法や上手な活用方法を分かりやすく説明してくれて理解しやすかった。
- レポート作成について不安が多かったが、図書館を利用することで、レポートにおける不安が減った。
- 資格取得に向けての勉強や課題をやる場面で使いたい。
- 電子図書館を気軽に利用したい。
- 図書館は本を借りるだけの場所じゃないことがわかった。

図書館内での書籍・文献探索の授業



開館日カレンダー

6月							7月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6				1	2	3	4
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25
28	29	30					26	27	28	29	30	31	

＊ ＊ 開 館 時 間 ＊ ＊

- 午前 9:00～午後 6:00
- 午前 9:00～午後 7:00
- 休館日
- 午前 9:00～午後 1:30

図書館のご案内

作新学院大学・作新学院大学短期大学部
図書館

〒321-3295 栃木県宇都宮市竹下町908番地
TEL：028-670-3652
EMAIL：tosyo@sakushin-u.ac.jp
URL：https://www.sakushin-u.ac.jp/library/

SAKUらいぶ
バックナンバー

